

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成23年11月11日

【四半期会計期間】 第41期第2四半期
(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 兼松エンジニアリング株式会社

【英訳名】 KANEMATSU ENGINEERING CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山 口 隆 士

【本店の所在の場所】 高知県高知市布師田3981番地7

【電話番号】 0 8 8 (8 4 5) 5 5 1 1 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 山 本 琴 一

【最寄りの連絡場所】 高知県高知市布師田3981番地7

【電話番号】 0 8 8 (8 4 5) 5 5 1 1 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 山 本 琴 一

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第40期 第2四半期累計期間	第41期 第2四半期累計期間	第40期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	1,919,892	2,406,289	4,510,860
経常利益又は経常損失()	(千円)	30,778	117,510	99,625
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(千円)	39,483	60,365	92,680
持分法を適用した 場合の投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	313,700	313,700	313,700
発行済株式総数	(株)	4,280,000	4,280,000	4,280,000
純資産額	(千円)	2,483,832	2,629,630	2,617,081
総資産額	(千円)	4,232,757	4,939,320	4,592,803
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額()	(円)	9.23	14.12	21.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			12.00
自己資本比率	(%)	58.7	53.2	57.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	14,215	154,879	276,354
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	63,690	55,339	68,199
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	22,763	58,093	75,813
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	286,589	204,909	474,352

回次		第40期 第2四半期会計期間	第41期 第2四半期会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	9.63	36.84

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。
 2 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
 3 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がありませんので、記載しておりません。
 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第40期及び第41期第2四半期累計期間は潜在株式が存在しないため、第40期第2四半期累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災による落ち込みからゆるやかに持ち直しつつありますが、円高の長期化、欧州の信用不安増大等の影響で先行き不透明な状況が継続しております。

当社では、東日本大震災の影響により、シャーシの搬入が不安定な状況にありましたが、7月以降に供給が正常化したことにより、当社も生産体制を強化し、納期遅れへの対応や、中型車ポスト新長期排出ガス規制実施前の買替需要への対応を進めてまいりました。この結果、売上高・利益ともに前第2四半期累計期間を上回ることができました。

また当第2四半期累計期間は、製鉄・製鋼所向けの作業車や、大震災の復旧・復興に向けた強力吸引作業車及び高圧洗浄車の受注が増加しております。特殊製品でも、高速道路会社及び官公庁向け「水循環式排水管清掃車」5台、柑橘類果皮から精油を採る「マイクロ波抽出装置」4台等の受注があり、受注高・受注残高は前第2四半期累計期間に比べて増加しております。

業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は1,072百万円増の3,420百万円(前年同四半期比45.7%増)、売上高は486百万円増の2,406百万円(前年同四半期比25.3%増)となりました。損益につきましては、営業利益は104百万円(前年同四半期は営業損失44百万円)、経常利益は117百万円(前年同四半期は経常損失30百万円)、四半期純利益は60百万円(前年同四半期は四半期純損失39百万円)を計上することとなりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末の財政状態は、総資産は、前事業年度末残高に比べ346百万円増加し、4,939百万円となりました。これは主に、現預金の減少221百万円はありましたが、たな卸資産の増加477百万円及び売上債権の増加70百万円等によるものであります。

負債は、前事業年度末残高に比べ333百万円増加し、2,309百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加311百万円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末残高に比べ12百万円増加し、2,629百万円となりました。これは主に、剰余金の配当51百万円はありましたが、四半期純利益の計上60百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果使用した資金は、前第2四半期累計期間に比べ140百万円増加し、154百万円(前年同四半期比989.5%増)となりました。これは主に、仕入債務の増加はありましたが、たな卸資産の増加によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期累計期間に比べ8百万円減少し、55百万円(前年同四半期比13.1%減)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入はありましたが、定期預金の預入による支出及び有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、58百万円(前年同四半期は得られた資金22百万円)となりました。これは主に、配当金の支払い及び長期借入金の返済による支出等によるものであります。

従いまして、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、前事業年度末残高に比べ269百万円減少し、204百万円(前期比56.8%減)となりました。

(4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は14百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	13,520,000
計	13,520,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,280,000	4,280,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であります。
計	4,280,000	4,280,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		4,280,000		313,700		356,021

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
兼松エンジニアリング 従業員持株会	高知県高知市布師田3981-7	465	10.86
三 谷 浩 溢	高知県高知市	327	7.64
山 本 琴 一	高知県高知市	323	7.55
株式会社扇港銅業所	兵庫県神戸市東灘区住吉南町3丁目1-5	251	5.86
山 口 隆 士	高知県高知市	233	5.46
山 本 吾 一	高知県高知市	202	4.72
柳 川 裕 司	高知県高知市	148	3.46
株式会社四国銀行	高知県高知市南はりまや町1丁目1-1	117	2.73
坂 本 洋 介	高知県高知市	102	2.41
板 垣 周 一	東京都大田区	83	1.94
計		2,253	52.64

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,272,000	4,272	同上
単元未満株式	普通株式 5,000		同上
発行済株式総数	4,280,000		
総株主の議決権		4,272	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 兼松エンジニアリング株式会社	高知県高知市布師田 3981-7	3,000		3,000	0.07
計		3,000		3,000	0.07

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	614,274	392,410
受取手形及び売掛金	1,447,963	1,518,458
商品及び製品	34,188	159,042
仕掛品	142,076	445,000
原材料及び貯蔵品	199,404	249,598
繰延税金資産	80,012	85,200
その他	13,527	27,472
貸倒引当金	232	72
流動資産合計	2,531,216	2,877,110
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	409,562	416,416
土地	1,254,363	1,254,363
その他（純額）	112,239	99,315
有形固定資産合計	1,776,165	1,770,095
無形固定資産	10,043	8,996
投資その他の資産		
繰延税金資産	147,905	150,147
その他	172,244	177,742
貸倒引当金	44,772	44,772
投資その他の資産合計	275,378	283,117
固定資産合計	2,061,587	2,062,209
資産合計	4,592,803	4,939,320

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,240,612	1,552,331
短期借入金	45,000	36,000
未払法人税等	23,895	60,894
賞与引当金	95,041	96,156
役員賞与引当金	-	4,795
製品保証引当金	34,000	34,000
その他	168,127	154,413
流動負債合計	1,606,675	1,938,590
固定負債		
退職給付引当金	126,968	129,902
その他	242,078	241,197
固定負債合計	369,046	371,099
負債合計	1,975,722	2,309,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	1,948,034	1,957,088
自己株式	1,773	1,773
株主資本合計	2,615,982	2,625,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,098	4,594
評価・換算差額等合計	1,098	4,594
純資産合計	2,617,081	2,629,630
負債純資産合計	4,592,803	4,939,320

(2)【四半期損益計算書】
 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,919,892	2,406,289
売上原価	1,493,710	1,790,177
割賦販売未実現利益戻入額	3,275	-
売上総利益	429,457	616,112
販売費及び一般管理費	474,365	511,265
営業利益又は営業損失()	44,908	104,846
営業外収益		
受取利息	275	97
受取賃貸料	6,808	6,776
助成金収入	4,421	860
その他	4,569	5,354
営業外収益合計	16,075	13,089
営業外費用		
支払利息	457	158
為替差損	1,482	264
その他	5	2
営業外費用合計	1,945	425
経常利益又は経常損失()	30,778	117,510
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,036	-
特別利益合計	1,036	-
特別損失		
固定資産除却損	40	6,563
投資有価証券評価損	7,448	-
特別損失合計	7,488	6,563
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	37,230	110,947
法人税、住民税及び事業税	1,562	58,010
法人税等調整額	690	7,429
法人税等合計	2,252	50,581
四半期純利益又は四半期純損失()	39,483	60,365

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	37,230	110,947
減価償却費	50,311	43,570
貸倒引当金の増減額 (は減少)	1,036	159
賞与引当金の増減額 (は減少)	3,732	1,115
役員賞与引当金の増減額 (は減少)	-	4,795
製品保証引当金の増減額 (は減少)	5,000	-
退職給付引当金の増減額 (は減少)	3,922	2,933
受取利息及び受取配当金	780	602
支払利息	457	158
投資有価証券評価損益 (は益)	7,448	-
売上債権の増減額 (は増加)	33,861	70,495
たな卸資産の増減額 (は増加)	4,008	477,971
仕入債務の増減額 (は減少)	62,504	280,097
その他	4,539	28,984
小計	4,814	134,596
利息及び配当金の受取額	558	757
利息の支払額	460	157
法人税等の支払額	9,499	20,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,215	154,879
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	113,912	121,852
定期預金の払戻による収入	83,516	74,273
有形固定資産の取得による支出	33,018	8,901
有形固定資産の売却による収入	30	250
その他	305	891
投資活動によるキャッシュ・フロー	63,690	55,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (は減少)	85,000	-
長期借入金の返済による支出	9,600	9,000
リース債務の返済による支出	868	868
配当金の支払額	51,445	48,224
その他	322	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,763	58,093
現金及び現金同等物に係る換算差額	898	1,131
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	56,041	269,443
現金及び現金同等物の期首残高	342,630	474,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	286,589	204,909

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)																		
1 保証債務 他社のリース契約に対して次のとおり保証を行っております。 <table border="0"> <tr> <td>(株)梅井建設</td> <td>6,612千円</td> </tr> <tr> <td>(株)ユーロトランス</td> <td>3,932 "</td> </tr> <tr> <td>新井建設(株)</td> <td>2,220 "</td> </tr> <tr> <td>日本マイティ(株)</td> <td>975 "</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,741 "</td> </tr> </table>	(株)梅井建設	6,612千円	(株)ユーロトランス	3,932 "	新井建設(株)	2,220 "	日本マイティ(株)	975 "	計	13,741 "	1 保証債務 他社のリース契約に対して次のとおり保証を行っております。 <table border="0"> <tr> <td>(株)梅井建設</td> <td>4,319千円</td> </tr> <tr> <td>(株)ユーロトランス</td> <td>2,141 "</td> </tr> <tr> <td>新井建設(株)</td> <td>1,899 "</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,360 "</td> </tr> </table>	(株)梅井建設	4,319千円	(株)ユーロトランス	2,141 "	新井建設(株)	1,899 "	計	8,360 "
(株)梅井建設	6,612千円																		
(株)ユーロトランス	3,932 "																		
新井建設(株)	2,220 "																		
日本マイティ(株)	975 "																		
計	13,741 "																		
(株)梅井建設	4,319千円																		
(株)ユーロトランス	2,141 "																		
新井建設(株)	1,899 "																		
計	8,360 "																		

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)																
販売費及び一般管理費の主なもの <table border="0"> <tr> <td>給料</td> <td>156,337千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>25,626 "</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>2,824 "</td> </tr> </table>	給料	156,337千円	賞与引当金繰入額	25,626 "	退職給付費用	2,824 "	販売費及び一般管理費の主なもの <table border="0"> <tr> <td>給料</td> <td>159,273千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>51,891 "</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>4,795 "</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>4,330 "</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>159 "</td> </tr> </table>	給料	159,273千円	賞与引当金繰入額	51,891 "	役員賞与引当金繰入額	4,795 "	退職給付費用	4,330 "	貸倒引当金繰入額	159 "
給料	156,337千円																
賞与引当金繰入額	25,626 "																
退職給付費用	2,824 "																
給料	159,273千円																
賞与引当金繰入額	51,891 "																
役員賞与引当金繰入額	4,795 "																
退職給付費用	4,330 "																
貸倒引当金繰入額	159 "																

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)																				
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 <table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>458,621千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td>123,912 "</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期積立金</td> <td>47,000 "</td> </tr> <tr> <td>別段預金</td> <td>1,119 "</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>286,589 "</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	458,621千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	123,912 "	預入期間が3ヶ月を超える定期積立金	47,000 "	別段預金	1,119 "	現金及び現金同等物	286,589 "	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 <table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>392,410千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td>123,852 "</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期積立金</td> <td>63,000 "</td> </tr> <tr> <td>別段預金</td> <td>648 "</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>204,909 "</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	392,410千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	123,852 "	預入期間が3ヶ月を超える定期積立金	63,000 "	別段預金	648 "	現金及び現金同等物	204,909 "
現金及び預金勘定	458,621千円																				
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	123,912 "																				
預入期間が3ヶ月を超える定期積立金	47,000 "																				
別段預金	1,119 "																				
現金及び現金同等物	286,589 "																				
現金及び預金勘定	392,410千円																				
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	123,852 "																				
預入期間が3ヶ月を超える定期積立金	63,000 "																				
別段預金	648 "																				
現金及び現金同等物	204,909 "																				

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月18日 定時株主総会	普通株式	51,324	12.00	平成22年3月31日	平成22年6月21日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の未日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月21日 定時株主総会	普通株式	51,312	12.00	平成23年3月31日	平成23年6月22日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の未日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	9円23銭	14円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	39,483	60,365
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	39,483	60,365
普通株式の期中平均株式数(株)	4,276,696	4,276,043

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、当第2四半期累計期間は潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

兼松エンジニアリング株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 荒井 憲一郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 梅原 隆 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている兼松エンジニアリング株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第41期事業年度の第2四半期会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、兼松エンジニアリング株式会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。